

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2015
October

No. 164

11



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組めます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組めます。

事業のうごき 11

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- JA-TAC活動及び担当者の育成支援
- 担い手対策のための取り組み
- 農産物の安全・安心対策

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく生玉販売推進
平成27年10月20日～12月15日
- こんにゃく製品セット冬期特別推進
平成27年11月1日～12月末日
- 菌茸類種駒・種菌予約推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計県統一規格露地なす販売 (11月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12月末日迄)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計干し大根販売 (12月中旬迄)
- 共計下仁田ねぎ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計泥ねぎ販売 (3月中旬迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)

販売促進課

- 秋冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き販売促進

園芸資材課

- 雪害施設工程確認と進捗管理
- 雪害施設被害復旧業務全般
- ハウス用更新資材戸別推進 (農ビ・農ポリ等)
- コンニャク用マルチ予約とりまとめ
- 冬春用出荷資材予約推進 (ほうれん草・山うど・アスパラ他)
- 青果物段ボール予約注文取りまとめ
- 冬春用野菜種子推進 (ほうれん草・ねぎ・きゅうり)
- 種馬鈴薯納品 (11月中旬～)

生産資材部

- 売出し・フェアの実施
- ☆花木流通センター
- 10月31日(土)～11月3日(火)
大植木祭り(セール期間)
- 10月31日(土)～11月1日(日) 植木まつり
- 11月20日(金)～11月23日(月)
秋のお客様感謝セール
- 11月28日(土) 午前市
- ☆愛菜館
- 11月7日(土) 青空市
- 11月8日(日)・18日(水)・28日(土) 8の日お米特売
- 11月4日・11日・18日・25日(水) 肉特売日
- 11月28日(土) 午前市
- 造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 麦肥料推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 麦作除草剤推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 全農ペット茶推進 (周年)
- 「上州もみきりうどん」・「四季のめん」推進 (11月～12月)
- 仕込み味噌推進 (10月～3月)
- JA高崎ハムお歳暮ギフト推進 (11月～12月)
- こだわりみかん推進 (11月～12月)

葬祭総合課

- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

石油課

- JA-SS 冬のキャンペーン (11月～12月)

ガス課

- ガス器具キャンペーン
- ふれあい訪問活動推進
- 第2回クマイガス器具特別推進



JOCエリートアカデミー調理実習
(10.4 花木流通センター・高崎健康福祉大学)

■未来の五輪候補生が調理実習

10月4日(日)、高崎健康福祉大学にてJOCエリートアカデミー卓球選手を対象とした調理実習が行われ、本会も食材提供において協力しました。選手たちはまず花木流通センターを訪れ、栄養バランスを考慮しながら新鮮野菜等の材料を選定しました。その後、高崎健康福祉大学へと移動し、健大生のサポートを受けながら調理を行いました。料理作りを通し、日々の活躍に欠かせない適切な食と栄養について学びました。



平成27年産米の集荷・販売対策並びに
麦生産流通対策会議
(10.5 J Aビル)

■米麦生産振興に向け協議

10月5日(月)、米麦特産課は「平成27年産米の集荷・販売対策並びに麦生産流通対策会議」を開催し、各J A担当者等44名が参加しました。会議では、米の情勢・販売対策について具体的な内容の説明や「買取方式」を活用し、集荷増・有利販売に繋げるための話し合いが行われました。その他、民間流通麦の生産流通対策として、制度の仕組みの見直しやミスマッチ解消に向けた取り組み等の説明も行われ、米麦に関する現状と対策が協議されました。



J A 邑楽館林館林北支所起工式
(10.6 建設予定地)

■「支所再編計画」第一号店に着手

10月6日(火)、「J A 邑楽館林館林北支所起工式」が執り行われ、設計及び施主代行を務める当県本部の関係者も出席しました。J A 邑楽館林では現在、支所再編整備を進めており、22店舗ある支所体制から10支所体制への再編に取り組んでいます。同支所は、郷谷・大島・渡瀬の3支所を統合したもので、今回新たな地に建設されます。小池組合長は、「多くの人々が集い賑わうような店舗にしたい。」と期待を込めて挨拶しました。



J A 北群渋川吉岡支所起工式
(10.6 完成予想図)

■待望の統合支所を起工

10月6日(火)、「J A 北群渋川吉岡支所起工式」が執り行われ、設計及び施主代行を務める当県本部の関係者も出席しました。当支所は、明治支所と駒寄支所の統合により新たに建設されるもので、組合員の利便性の向上と今以上のサービスの提供を目指します。支所内には、無給水加湿装置や天井裏の自動換気システムが導入され、過ごしやすい快適な空間を実現します。オープン、来年の4月25日(月)の予定です。



平成27年度花き流通情報連絡協議会先進地研修
(10.7 県内圃場)



平成27年度こんにゃく作況調査
(10.8 県内圃場)

■先進的な取り組みを学ぶ

10月7日(水)、花き流通情報連絡協議会主催の「平成27年度先進地研修」が群馬県内において開催され、12都県より花き担当者と市場関係者19名が参加しました。研修では、前橋市内のバラ出荷組合「前橋バラ組合」と藤岡市内の切り花シンビジウム出荷団体「上州の蘭2011」を訪れ、圃場見学を行いました。また、代表者による栽培方法や独自の取り組みについての説明も行われ、参加者は今後の生産振興に役立てるため熱心に質問をしていました。

■こんにゃく今年の作況を調査

こんにゃくの生産量の的確な把握により、価格の安定を図ることを目的とした「こんにゃく作況調査」が10月7日(水)～9日(金)、群馬県蒟蒻生産協会主催により実施されました。期間中は県内60か所の圃場において、畝幅・掘取長・病害の状態・玉数・重量等の調査が行われました。調査結果は圃場間で作柄格差が見られ、収量予測は前年よりやや良好でしたが、平年には届かない見込みとなりました。



人形ぬいぐるみ供養祭
(10.18 J Aアシストホールまえばし)



J A北群渋川吉岡町福祉センター起工式
(10.27 建設予定地)

■感謝の気持ちを込めて供養

10月18日(日)、J Aアシストホールまえばしにおいて「人形ぬいぐるみ供養祭」が行われました。当日は、約4000体の人形・ぬいぐるみが持ち込まれ、僧侶による読経のもと丁寧に供養されました。参加者は、各自思い入れのある人形たちに対し、手を合わせ感謝の気持ちを捧げました。また、会場では輪投げ体験やAコープ食材の試食、新鮮野菜の販売等の各種イベントや豪華景品が当たる抽選会も行われ、約300人の来場者で賑わいました。

■新たな福祉の拠点に期待

10月27日(火)、「J A北群渋川吉岡町福祉センター起工式」が執り行われ、設計及び施主代行を務める当県本部の関係者も出席しました。明治支所の統合に伴い、敷地内に新たに建設される当施設は、リハビリに特化した自立支援型デイサービスです。多目的室や喫茶スペースを設けることで、組合員や地域住民が気軽に集える施設を目指します。来年6月のオープン予定で、施設の名称は今後公募により決定されます。



サツマイモ・サトイモ収穫体験
(10.26 収穫体験農園)



直営北橘農場 完成視察会・落成式
(10.27 建設予定地)

■大興奮の収穫体験

10月26日(月)、花木流通センターは収穫体験農園において「サツマイモ・サトイモ収穫体験」を開催し、地域の保育園児約40名が参加しました。子供たちは、次々に土から芋を掘り出すと、「こんなに大きいのが獲れたよ!」と嬉しそうに見せ合っていました。収穫した芋は、保育園に持ち帰り焼き芋にして美味しく食べてもらいました。花木流通センターでは、今後も野菜苗の植え付けや収穫を通して、食と農の大切さを伝えていきます。

■鶏肉生産基地「北橘農場」が完成

10月27日(火)、群馬農協チキンフーズ㈱の「直営北橘農場」完成視察会・落成式が行われ、設計及び施主代行を務めた当県本部の関係者も出席しました。敷地内には約200坪の鶏舎が4棟あり、年間約20万羽のプロイラー生産が可能となります。当日は、防塵・環境対策にも配慮された最新鋭の施設内の視察会も行われました。低コストで生産効率の高い農場として、今後事業への大いなる貢献が期待されます。

豪華賞品が当たる! JA-SS冬のキャンペーン開催中!

JA-SS 群馬県内JA-SS

2015年 11月1日(日)~12月31日(木)

合計2,000名様に当たる!!

冬のキャンペーン

お店でゲット!
店頭給油キャンペーン
選べる3つのプレゼント!!
600名様に抽選で当たる!!
期間中、SS店舗にて購入したガソリン・軽油・灯油を3,000円以上ご購入の方に賞品が当たる!!

配達でゲット!
配達灯油キャンペーン
400名様に抽選で当たる!!
期間中、配達にて灯油100リットル以上を購入した方に賞品が当たる!!
新規配達灯油購入のお客様にはもちろんプレゼント!!
*「新規」とは初めて配達灯油を購入される方、過去1年以上配達灯油のご利用がないお客様となります。

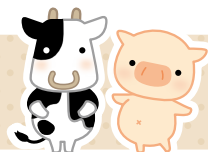
さらにダブルチャンス!!
応募者全員の中から、**ナノックススクリーンセットを1,000組にプレゼント!!**

A賞 上州麦豚コースすき焼き用 (1kg)
B賞 高崎ハム詰め合わせセット (17種)
C賞 登利平商品券 (3,000円)

群馬県内のJA-SSでは、11月1日(日)~12月31日(木)までの期間、「JA-SS冬のキャンペーン」を開催しています。店頭で、ガソリン・軽油・灯油を3,000円以上ご購入の方と配達灯油を100ℓ以上ご購入の方を対象に、抽選で1,000名様に豪華賞品をプレゼントいたします。賞品は、A賞(上州麦豚コースすき焼き用)・B賞(高崎ハム詰め合わせセット)・C賞(登利平商品券)・配達灯油(上州おっ切り込みご膳)から選べ、応募者全員の中からWチャンスとして、抽選でさらに1,000名様にナノックススクリーンセットをプレゼントいたします。応募方法等詳しくは、店頭備え付けの応募用紙またはキャンペーン参加のJA-SSまでお問い合わせください。たくさんのご応募お待ちしております!!



『収穫感謝祭2015』今年也大盛況!



10月3日(土)・4日(日)、JAビル南側駐車場において『収穫感謝祭2015～ぐんまの農業応援団大集合!～』が開催されました。この催しは、豊かな実りへの感謝と生産者と消費者の交流、そして群馬県農業の重要性や農業・農村の果たす多様な役割を考える機会として毎年開催されており、今年は約6万5千人が来場しました。

初日は、テープカット・開会式典に続き、農業功労者表彰・群馬県農業賞表彰式が執り行われました。会場では毎年恒例の婦恋高原キャベツの抱え取りや、上州牛・上州麦豚・きのこのバター炒め・焼きおにぎり等の無料配布、農畜産物の試食・販売、生活関連商品の展示・販売、ステージイベントなどが行われ、両日とも多くの家族連れで賑わいました。



▲ 開会式典でのテープカット



▲ 大盛り上がりのキャベツの抱え取り



▲ 上州牛の試食提供



▲ 香ばしい焼きおにぎり



▲ 子供たちに大人気のこんにゃくゼリーの抽選会



▲ きのこのバター炒めの試食提供



▲ 生活に役立つ商品を紹介



▲ Menkoiガールズによる書道パフォーマンス



▲ 青年部とあかぎ団による野菜大抽選会

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

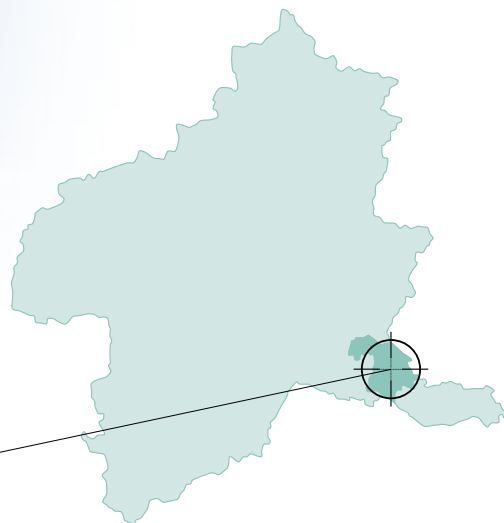
番組名／提供	放送日 ※再放送日	時間
創立60周年記念! 青年部大会／JA群馬中央会	※11月29日(日)	AM 8:00～8:30
JA年金友の会親睦グラウンドゴルフ大会／JAバンク群馬	11月30日(月)	PM 9:00～9:30
	※12月6日(日)	AM 8:00～8:30



山部 朱里アナ

農業 チャレンジャー

JA太田市



家族で取り組む理想の農業

JA太田市管内 清水 智裕 さん



清水 智裕
(しみず・ともひろ) さん

1983年生まれ、32歳。
JA太田市青壮年部所属。

栽培面積：小玉スイカ・
ほうれん草……85a

両親は頼れる存在

今回のチャレンジャーは、JA太田市管内で小玉スイカとほうれん草を生産されている清水さんです。農業を営む両親の姿を見て育ち、自身も就農を決意したと話す清水さん。「高校・大学と野菜作りを専門的に学び、卒業と同時に就農しました。しかし、いざ始めてみると規模の大きさや専門的な内容に戸惑うことばかりでした。」と当時を振り返ります。経験豊富なご両親の指導のもと栽培技術と知識の習得に励み、今年で就農12年目。作業にもだいぶ慣れ自信もついてきたという現在は、より確実な栽培を目指し家族の中心となって活躍しています。

栽培へのこだわり

清水さんのハウスでは、8月から1月はほうれん草、12月から7月は小玉スイカの栽培・収穫を行っており、周年で生産しています。今(11月)はほうれん草の収穫時期。朝の収穫作業に始まり、日中の調整作業・袋詰め等が主な仕事です。「ハウス栽培は、温度を常に一定に保つための温度管理が難しいです。定植してからしばらくの間は特に気が抜

けません。また、今の時期は病害虫の被害を防ぐための手入れもまめに行っています。農業は、天候に左右されるため毎年どうなるのかわからないのが難しい所ですが、その分納得のいく物ができたときの充実感は大きいです。」と話します。より良い物を消費者へ届けたいという確固たる思いで日々作業にあたっています。

小玉スイカの今後に期待

今後の展望を伺うと、「この先も現状の規模を維持し、高品質な物を安定して生産していきたいです。雪害の影響や高齢化等により近年環境は厳しくなっていますが、ここ藪塚地区の『藪塚こだま西瓜』というブランドに誇りを持ち、今後もずっと作り続けたいと思っています。」と話してくれました。

私生活では、1歳の娘さんを持つ良きお父さん。現在は子育てに専念している奥様も、いずれは一緒に農業ができたらの思いも聞かせてくれました。

日々着実に、そして前向きに前進する清水さんの今後さらなる活躍が期待されます。



- 1 ほうれん草の収穫を行う清水さん。所属している青壮年部では、若手同士の交流も活発に行っているそうです。
- 2 調整作業の様子。一つ一つ手作業で余分な葉を取り除き、根を切り揃えます。
- 3 ハウス内の様子。去年の雪害では約7割のハウスが倒壊したそうですが、現在は全て再建しています。
- 4 袋詰めされたほうれん草。出荷は1月末頃まで。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JAはぐくみ
営農部 営農販売課

森田 拓也さん

もりた・たくや (26歳)

趣味.....音楽鑑賞
休日の過ごし方.....コンサートを聴きに行く
特技.....バスドラム・シンバル・カラオケのタンバリン
●職場の皆さんからみた森田さん
「明るく真面目でいつも一生懸命です。販促イベントをさせたらナンパーワンの頼もしい存在です!今後更なる活躍を期待しています。」

「地場産農産物の魅力を広めたい」

——入組して何年目ですか?

配属当初からずっと営農販売課で、今年で5年目になります。

——現在の仕事内容を教えてください。

今年から新たに加わった米麦に関する業務をメインとして行っています。具体的には、国への補助金申請や集落営農の法人化に向けた取り組み等です。

——その他にはどのような業務がありますか。

現在JAはぐくみでは、量販店内の一角に地場産コーナーを設け、生産者から出荷される新鮮野菜や加工品を販売する「インショップ型の地場産コーナー」に力を入れています。県内5店舗の量販店で展開しており、地産地消を促進しています。また、JAたかさき・JAたのふじと連携して、県内外での販売促進イベントにも多数参加しており、そこでは高崎市内で生産される安心で美味しい農産物を「高崎そだち」ブランドとし、広く消費者にPRしています。

——イベントでの消費者の反応はいかがですか。

遠方の方から「美味しかったから送って欲しい。」と言っていただいたり、「昨日も来たがまた買いに来たよ。」との声をいただいたりすると本当に嬉しいです。イベントは、準備は大変ですが、やりがいを感じますし楽しいです。消費者の生の声を聞くことで学ぶことも多いですね。

——吹奏楽のご経験があるのですね。

はい。高校で吹奏楽部に所属し、打楽器全般を演奏していました。3年時には部長も務めさせていただき、仲間と共に朝も夜も練習に励んでいました。北海道の大学に通っていた当時は、縁あって網走市内の中学校3校で生徒に演奏の指導をしていました。

——現在も活動をしているのですか?

南牧村の中学校で教師をしている同級生に誘われたのがきっかけで、現在学習発表会にむけて演奏の指導をさせてもらっています。

——では、最後に今後の意気込みをお聞かせください。

今よりもっと豊富な知識を蓄え、日頃からお世話になっている組合員さんの力になりたいです。また、組合員さんからの要望に応えるのももちろん、より幅広い業務に対応できる職員になりたいと思っています。そして、今後も安全で美味しい地場産農産物のPRを通じて、JAはぐくみや産地の知名度向上に努めていきたいと思っています。

——森田さん、これからも頑張ってください。ありがとうございます!



▲愛用のパチを持つ森田さん。高校3年時に群馬県代表で出場した「西関東マーチングコンテスト」の写真と一緒に。

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は10月26日に9月の牛乳乳製品統計を公表した。9月生乳生産量は59万2,876tで前年に比べ1.6%増加した。北海道は31万6,278t(前年同月比2.1%増)で生産量の全国シェアは53.3%となった。

都府県の生産量は27万6,598tとなり、前年同月比で0.9%増加した。

■販売及び乳製品情勢

9月の用途別処理量は、牛乳等向けが33万7,971t(前年同月比1.3%減)、乳製品向けが25万222t(〃5.9%増)となった。

飲用牛乳等生産量は30万215ℓ(〃1.5%減)で前月から2.6ポイント減少し、内牛乳が26万1,502ℓ(〃1.1%減)、また乳飲料は11万7,252ℓ(〃2.9%減)で前月より2.5ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳	全	625,011	648,952	624,650	628,725	608,496	592,876
生産量	群馬(委託実績)	18,539	19,033	17,853	17,612	17,190	16,517
	本会(委託実績)	5,955	6,116	5,719	5,542	5,300	5,168
用途別	飲用牛乳等向け	322,457	347,312	349,033	338,115	322,777	337,971
処理量	乳製品向け	297,955	296,945	270,983	285,841	281,149	250,222
	その他向け	4,599	4,695	4,634	4,769	4,570	4,683
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7	99.8	100.9	101.8	101.4	101.6
	〃(群馬)	98.5	98.9	99.4	100.0	101.4	100.2
	〃(本会)	96.1	97.2	98.0	98.1	97.9	98.1
	飲用牛乳等向け	102.7	101.5	101.1	100.3	101.9	98.7
	乳製品向け	96.7	97.9	100.8	103.5	100.9	105.9
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
							3,728,710
							106,744
							33,801
							2,017,665
							1,683,095
							27,950
							100.9
							99.7
							97.6
							101.0
							101.0

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(11月予想)：牛肉は強い展開。前月に一段上げた相場がさらに上がる見通し。歳末向けで需給は引き締まった状態が続く見通し。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,700円中心	・和牛去勢A3	2,300円中心	・交雑去勢B3	1,750円中心
・和牛去勢A4	2,450円中心	・和牛去勢A2	1,980円中心	・交雑去勢B2	1,700円中心
		・交雑去勢B5	2,240円中心	・乳牛去勢B2	1,150円中心
		・交雑去勢B4	1,940円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛 去勢 A4	26年-27年	1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166	2,163	2,297	2,288	2,257	2,069
	27年-28年	2,283	2,349	2,252	2,255	2,349	2,395	2,455						2,334
	前年格差	384	435	359	393	390	389	326						265
和牛 去勢 A3	26年-27年	1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019	1,933	2,059	2,079	2,055	1,859
	27年-28年	2,098	2,132	2,080	2,085	2,106	2,133	2,228						2,123
	前年格差	429	468	422	423	380	336	240						264
和牛 去勢 A2	26年-27年	1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863	1,648	1,819	2,000	1,828	1,672
	27年-28年	2,026	1,848	1,866	1,956	1,832	1,909	1,989						1,918
	前年格差	510	356	380	501	300	246	232						246

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
26年-27年		1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465	1,385	1,005	1,091	1,012	14,229
27年-28年		1,085	946	907	1,151	871	1,004	1,084						7,048
前年格差		▲ 206	▲ 152	▲ 197	▲ 111	▲ 197	▲ 212	▲ 148						▲ 7,181
全国 と畜 頭数	25年-26年	103,062	95,418	90,357	104,661	91,687	93,321	104,050	117,198	113,212	86,606	85,968	91,771	1,177,311
	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年	95,755	83,324	89,621	98,748	84,388	88,223							540,059
	前年比	96.3	91.6	99.2	96.6	95.4	92.1							98.2

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 725千円平均 (前月比101%)	(雌) 633千円平均 (前月比100%)
②F1価格	(去勢) 250~300kg 1,356円/kg平均	(雌) 250~300kg 1,210円/kg平均
③全農・取引基準価格(乳去)	260~300kg 734円/kg平均 (前月比96.3%)	

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

※平成25年4月より相対を含む。（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
25年-26年(A)		450	499	485	498	507	499	466	477	521	458	467	496	485
26年-27年(B)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(C)		569	535	565	613	615	530	471						557
(B-A)		103	83	136	82	41	49	51	92	88	89	121	69	84
(C-B)		16	▲47	▲56	33	67	▲18	▲46						▲12

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜頭数	26-27年	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865	41,060	39,158	37,138	39,152	474,134
	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863	35,998	42,383	45,504						283,206
前年比(%)		93.4	95.7	107.3	102.6	102.8	104.5	101.2						59.7

肉豚生産出荷予測（全国） ※9月まで実績／10月以降の出荷予測は

10月14日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	4~6月	7月	8月	9月	7~9月	10月	11月	12月	10月~12月	1月	2月	3月	1月~3月
全国出荷予測頭数(千頭)		3,905	1,323	1,201	1,334	3,857	1,458	1,403	1,557	4,418	1,451	1,372	1,412	4,238
前年同月比(%)		99	99	98	100	99	102	109	106	106	108	107	103	106

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、11月の出荷見込頭数は1,403千頭（前年同月比109%）となっている。その後は12月1,557千頭（〃106%）、1月1,451千頭（〃108%）と予想されている。豚肉相場は、軟調。減っていた出荷は回復傾向となり、需給は緩和状態となる見通し。

需要面は、荷動き自体は良いが、供給が需要を上回り、相場の上げ要因とはならない見通し。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

平成27年11月255円（見込み） 105%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		223	204	199	190	192	231	240	242	248	192	209	219	216
27年-28年(B)		227	230	223	213	219	247	250						230
(B-A)		4	26	24	23	27	16	10	0	0	0	0	0	14
全国基金	26-27年	0	0	0	2.088	0	0	0	0	0	2.907	0	0	
補填	27-28年	0	0	0	0	0	0	0						

■価格動向：10月の平均単価は250円（前年同月+10円）と前年同月を上回り、平成26年11月～平成27年10月期平均は227円（前年同期比+1円）であった。

■出荷動向：全体の供給量を増えるが、小玉サイズは少なく、他のサイズも含め価格の上げ要因となる見込み。

■需要動向：鶏卵は小幅にあげる見込み。気温低下に伴い卵重が増えて供給が増えるものの、おでんや鍋物用の業務需要が伸びる見込みのため。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192	2,067	2,542	2,231	26,713
実績(t)	27-28年	2,449	1,888	2,307	1,979	1,803								10,426
前年比(%)		107.1	81.6	96.4	81.5	84.4								39.0
餌付羽数	26-27年	8,205	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071	7,369	8,295	7,941	7,764	8,734	97,153
(千羽)	27-28年	7,872	8,422	8,640	8,375	7,263	8,244							48,816
前年比(%)		95.9	101.6	102.8	99.6	103.1	95.6							50.2

■価格の推移

(1) 17年:204円 (3) 19年:169円 (5) 21年:175円 (7) 23年:188円 (9) 25年:207円
(2) 18年:184円 (4) 20年:193円 (6) 22年:194円 (8) 24年:181円 (10) 26年:216円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

10月9日の米国農務省需給見通しによると、米国とうもろこしの2014/15年産は、供給量は15,479百万ブッシェル(前月発表15,477百万ブッシェル)と横ばいであった。一方の需要面においても、米国内飼料用途向けで前月発表から若干量上方修正されたものの、工業・種子用途で減少したため、全体では13,748百万ブッシェル(前月発表13,745百万ブッシェル)とほぼ横ばいであった。期末在庫率は12.59%(前月発表12.60%)となる。

2015/16年度は、単収が上方修正され168ブッシェル/エーカー(前月発表167.5ブッシェル/エーカー)となったものの、収穫面積が80.7百万エーカー(前月発表81.1百万エーカー)と下方修正されたことから、供給量は15,316百万ブッシェル(前月発表15,347百万ブッシェル)と下方修正された。需要面では、13,755百万ブッシェル(前月発表13,755百万ブッシェル)と横ばいであった。期末在庫率は供給量の下方修正の影響から、11.35%(前月発表11.57%)となった。

また、10月以降は全国的に米国産以外のとうもろこしが輸入されてくると見込まれており、ブラジル産などの他産地とうもろこしを使用した圧べんが流通する可能性がある。

シカゴ定期は、9月の米国農務省需給見通しにて2015/16年度産の単収が下方修正されたことにより相場は390セント/ブッシェル前後に上昇し、それ以降目立った材料がない中、同水準を維持した。10月の米国農務省需給見通しにおいて、作付面積は減少したものの、単収が上方修正されたことから直近の12月限は375セント/ブッシェル前後で推移している。

②大豆粕

10月9日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2014/15年産について、供給量は収穫面積と単収が下方修正されたため42百万ブッシェル減少し、4,052百万ブッシェルとなった。需要量は、搾油需要増の5百万ブッシェル増加、輸出需要の8百万ブッシェル増加、その他需要の減少により、3,861百万ブッシェルとなった。結果として、期末在庫は19百万ブッシェル減の191百万ブッシェルと見通され、在庫率も4.95%となる。

米国大豆の2015/16年産について、供給量は単収が47.2ブッシェル/エーカーに上方修正されたものの、期首在庫の減少により66百万ブッシェル減少し4,109百万ブッシェルとなった。需要量は、大豆粕の需要が好調なことから搾油需要が10百万ブッシェル上方修正されたが、一方で輸出量はブラジルなど他産地からの供給が増加するなか、米国産の輸出が低調であることを受けて、50百万ブッシェル下方修正され、3,685百万ブッシェルとなった。結果として、期末在庫は25百万ブッシェル減の425百万ブッシェルと見通され、在庫率も12.53%と前月の12.08%から減少している。

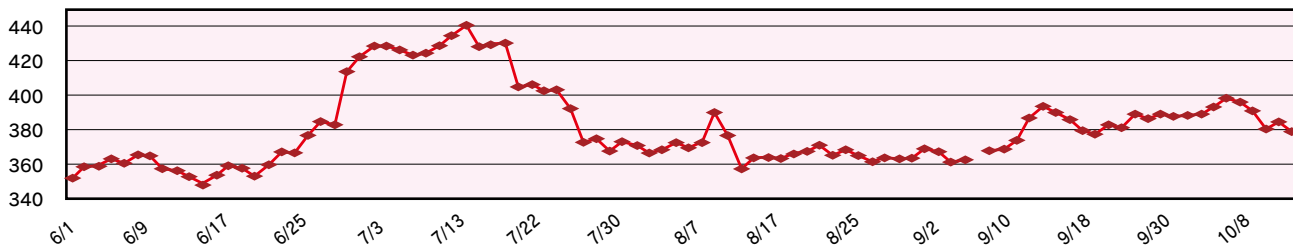
大豆粕のシカゴ定期は、米国の天候、および消費国の需要動向に影響されながら12月限は315ドル台前後で推移している。

■海上運賃

直近の米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は、原油価格の一時的な上昇や北米新穀輸送の本格化などを背景にやや堅調な展開となっているが、中国の景気悪化による荷動きの減少が続いており、運賃の上昇は一時的なものであるという見方が強い。今後は横ばいで推移すると見込まれるが、引き続き中国の動向に注目が集まっている。

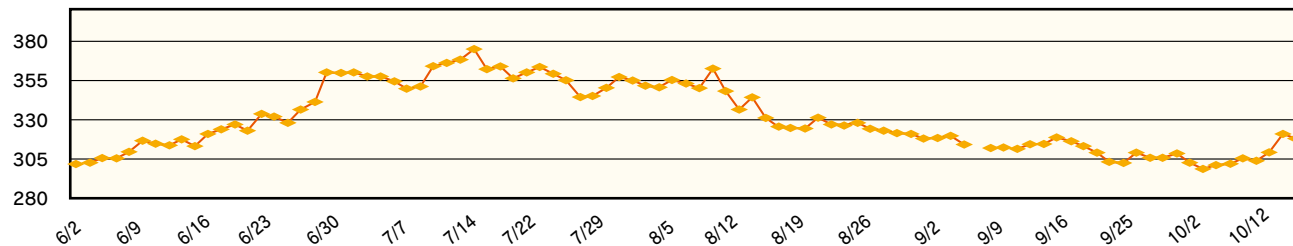
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



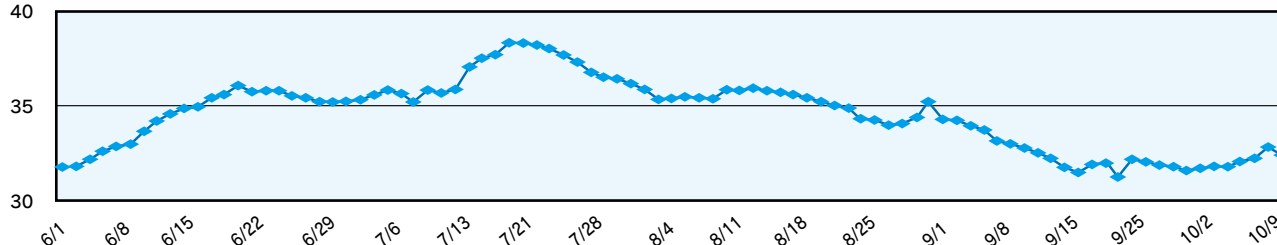
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



今年も毎年好評のイベント、「ちびっこ餅つき大会」を12月29日に開催します。子供たちが杵と臼を使い、力を合わせてお餅をつきます。つきあがったアツアツのお餅は、きな粉餅や辛み餅にしてその場で試食します。一生懸命ついてできたお餅の味は格別です。ぜひご家族揃ってお越しください。

12月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内 容
12月4日(金) ～6日(日)	ウィンターフラワーギフトセール
12月19日(土) ～23日(水)	お客様感謝フェア
12月26日(土) ～31日(木)	歳末感謝フェア
12月29日(火) 11:30～	ちびっこ餅つき大会 【参加費無料・申し込み不要】
12月10日(木) 10:00～ 14:00～	花の寄せ植え講習会 (クリスマス) (各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先:ふらわーらんど】
12月13日(日) 10:00～	
12月17日(木) 10:00～ 14:00～	花の寄せ植え講習会 (お正月) (各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 問合せ先:ふらわーらんど】
12月20日(日) 10:00～	

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

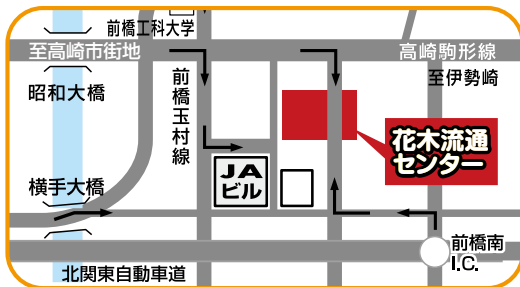
花と緑あふれる広場 KABOKU 花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～2月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

やさいひるば JA直販 愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



まいたけのパンでグラタン

材 料

2人分

(1人分565cal)

まいたけ…………… 1パック
えのき…………… 1/2袋
にんにく…………… 1片
唐辛子…………… 1本
玉ねぎ(みじん切り) …… 50g
サラダ油…………… 大さじ 1
小麦粉…………… 大さじ 5

付け合せ

レタス…………… 1/4
トマト…………… 1/2個
パセリ…………… 少々
ウインナー…………… 1本
(小口切りにしソテーする。)
ドレッシング…………… 適量

A (コンソメ…………… 1/2個
塩…………… 小さじ 1/4
こしょう…………… 少々

生クリーム…………… 大さじ 2
バケット…………… 1/2本
チーズ…………… 30g

作り方

- 1 まいたけは小房に分ける。えのきは石づきを切り3cmの長さに切る。
- 2 にんにく・唐辛子は粗いみじん切りにする。
- 3 フライパンにサラダ油を熱し、ニンニク・唐辛子・玉ねぎを炒める。ここにまいたけ・えのきを入れ、油がまわったら小麦粉を振り入れる。しっとりしたらAを加え、とろみがついたら生クリームを入れて味を調える。
- 4 バケットは3cmの幅に切る。スプーンで中のパン生地に穴をあけ、3のクリームを詰める。上にチーズを乗せ、230℃のオーブンでチーズが溶けるまで焼く。
- 5 お皿に4のパンを乗せ、レタス・トマト・パセリ・ウインナーを添える。